



「屋上防水工事」

昨年12月中頃から1年半ばかりかけて屋上の防水工事を行いました。この新社屋(?)も平成2年完成ですので今年で19年目。屋上には面積の半分をパレットに入れた植栽を使用した屋上緑化が行われていますがそれ以外のところにはコケが生え、クラックが入り、表層のコンクリートは浮いた状態になっていました。当然シート防水工事をするには邪魔なパレット入り植栽。社員も全員でお手伝い。総数478個のパレットを手送りで5階まで運びました。いやあ…大変です。皆さん、下ろしたということは当然防水工後は…上げるんです(;;)。

高圧洗浄器にてコケ等をすべて洗い流すときれいなコンクリートが顔を出してきます。シート工事は、菱興プラスチック様のご好意により超特価を出していただき、工事もお値打ちに施工していただきました。ご協力いただきました菱興プラスチック様、本当にありがとうございました。今度森松本社にお越しの皆様は、よかったですら屋上を見てみてください。きれいに仕上がっていますよ。社員みんなで上げた緑化用パレットも、傷んでしまった植栽たちがぼちぼち復活してきています。皆さん筋肉痛・腰痛は大丈夫でしたか?

一言で19年といいますが、森松のいろいろなことを見てきた屋上、またこれから15年、20年と私たちを見ていってけるとおもいます。20年?え、私は68歳…もう会社にいないだろうなあ…次のシート張替え工事は誰が見てくれるんだろうか。いつもでもこの社屋がきれいなままで、活力のある森松でいてほしいと思いました。

加藤雅昭 (営業部)



「人材と企業」

社長 森 直樹



私自身のブログでも時折エントリーしておりますが、人材というのは「人材」とも言われるように企業にとって一番重要な財産です。新たな市場を開拓するのも、新商品を開発するのも、そして企業を興すのもそれに適した人材が居てこそ可能。企業はそんな多くの可能性を持った人材を探し、採用するわけですが、問題は採用される側、つまり就職希望者から見た企業がどう見えるかということ。結婚と一緒に、お互いの印象が合わなければどんなに良い企業でも、良い人材でも望む結果にはなりません。

では、企業が自社に適した人材に入ってもらうためには? 「目標・ビジョンが明確」、「同僚との人間関係が上手くやって行けそう」、「仕事の環境が整っている」…等々理由が有りますが、自社のビジョン、この会社が何を目指し、現在どこへ向かおうとしているのが明確であることがもっとも重要であると思います。でなければ企業自身が、どのような人材を必要としているかあやふやになりますし、採用した人材に対しての指導も筋の通ったものにはなりません。

現在の景況から、中小企業にとっては良い人材を採用できるチャンスとなりました。森松は汎用プラスチック、機能性プラスチックにおいてスピード有る対応、そして柔軟な発想を生み出す人材を育成すべく、次の時代の人材を採用していきたいと思えます。

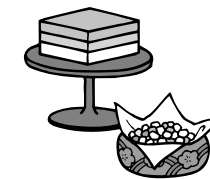
「森松」 sundaine.typepad.jp

naoki@morimatsu.net

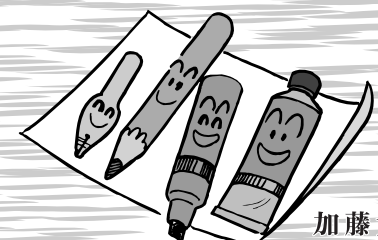
2009年 3月

の予定

30日 (月)	26日 (木)		23日 (月)	21日 (土)	20日 (金)	14日 (土)	13日 (金)	12日 (木)	7日 (土)
久保田裕子さん誕生日	中部文具工業会	CS向上会議	経営会議	生産会議	第三土曜日休み	春分の日	ホワイトデー	成瀬勝英さん誕生日	松井宣和さん誕生日
		16時30分~17時20分	15時30分~16時20分	12時~13時					



わくわく体験学習



加藤貴幸 (製造部)

2月の初めに名南中学校より、2年生の学生が「わくわく体験学習」ということで4日間、仕事とはどのような物を学校の授業の一環で学びに来ました。

今回この4日間の中学生の学習内容は、2日間POP作業があったのでお手伝いして頂きました。一日中立って作業したこともないので辛そうでした。3日目は別工場にてデスクマットの仕上げ作業を頂きました。この時はダンボールの印鑑押しやデスクマットの箱作りなどの作業でした。2人とも緊張しながら一生懸命やってくれました。最終日は本社にて製品の袋詰めをしてもらいました。淡々と袋に入れる単純作業と3日間の疲れもあり眠そうでした。4日間無事に終わり、最後に感想を聞いた所2人とも一言「疲れました!」との事、予想通りの内容で返ってきたので少し残念でしたが、この学習で自分たちなりに何かを感じ取れたとは思いました。

何も知らない子達に仕事の大変さを教えるのは私自身も勉強になりました。次回、このような機会があったら中学生たちに分かりやすく、為になる事を少しでも教えられたら良いなと思いました。



『14日』

黒松康郎 (東京オフィス)



最近は何となく見ると、人員削減給料カット何億円の赤字…。暗い話が多いし、私も波紋掲載に対して2回連続暗い話題をここで書いてきたので、今回は明るい話題で書きましょか。

この社内報が出る頃には終わっています、2/14はバレンタインデーです。小学生や中学生の頃はたくさんもらった記憶が有りますが、最近は無縁です。無縁になつて何十年にもなるような気がします。たまに「義理チョコ」というものがまわってきます。義理のくせに頂くとうれいもので、ホワイトデーに返すものに悩んだりします。悲しいものです。

バレンタインデーの日本の歴史を調べて見ました。1930年くらいにモロゾフが、1960年くらいに新宿伊勢丹が広告を打ち出して販売したらしいのですが、売れなかつたようです。1968年に、21の創業者盛田昭夫が関連会社の輸入雑貨専門店をつかい、チョコレットを贈る事を流行させようとしたとありました。この辺がはしりみたく、その後、森永製菓などの製菓屋さんが根付かしらしい。チョコレットの年間販売量の2割程度がこの日に向けて売れるようです。需要期ですね。

14という数字に関して、隣国の韓国では、14日と言う日にいろいろある様です。当然3/14はホワイトデー。4/14はバレンタインデー、ホワイトデーに恋人ができなかった人達が、チョコチョコチョコを食べる。中華料理店の謀略みたいな日があるらしい。5/14は恋人がいな人は、黄色い服を着てカレーを食べない、生涯独身になる。カレー屋の陰謀ですね。日本では11/14…森会長の車のナンバープレート1114 (いい樹脂多分今年最大の需要期を迎えると思います。その準備をそろそろしていましょか。

はだか祭 in 愛知県稲沢市

本年度の「はだか祭り」は、穏やかな日中でした。ぽかぽか陽気になりました。今回は、厄年と重なり、近所の同世代3名と参加。旧暦の1月13日に開催とあって、例年であれば風が吹き、寒さを増す中にて開催のところ、今年は何んか得た感じがしますと参加した皆さんより言われる。

午前中に近所の集会所に集まり、お酒がふるまわれ、また豚汁を頂き、体を温めてからなおい笹の束の御神輿にて町内練りまわり、昼過ぎにやっとマイクロバスに乗り込み、国府宮神社方面へ。しかし、神社付近手前で下車し、街中が交通整理され、はだか祭り参加者の優先道路でなんだか恥ずかしい。しかしメイン会場についた時、すごい人々の熱気。町内の年配の方より「初参加だからこの場所が安全帯だからここにいて。時間になったら声掛けるから」とアドバイスを頂いたのが最後で、気づいたらもう辺りは薄暗くなり帰るぞ!と寒くなったから退散…。今の時間帯なら何事もなく帰れるという事で、町内のマイクロバスにいそいそと乗り込みなんとか終了となる。しかし、近所の方々より『その肥満体を何とかした方がいいぞ、でないよ、怪我のもとだぞ』と言われ厄払い参加が、体の心配され、(奥さんが飲めるのに) 当の旦那が飲めんとは情けない。と酒くらい飲まんよとやっけてんぞ。晩酌くらいしろ!と近所では私より家内の方が有名人かな。今年は本厄だったから参加…来年は素直に退散します。きっと許してくれると思う。たぶん…。

長崎 修 (特販部)



お知れせ

森松のホームページがリニューアルします。それに伴い社内報の「波紋」がホームページから閲覧出来る様になります。6月号より (5月下旬予定) 是非楽しみにしておいて下さい。

『事前にチェック!』

安井浩二 (企画営業部)



先日、モノ「印象 日の出」展(名古屋市美術館)を観てきました。私は、絵画を観る趣味はないのですが、たまたま招待券を頂き名画を観るにはいい機会と思ひ、出かけた訳です。そこで、ただ、漠然と観てはもったいないと事前にチェック!

クロード・モネ(1840-1926)の「印象 日の出」は、印象派の名前の由来となった作品としてあまりにも有名だそうです。印象派とは、当時主流だった写真主義(現実を空想によらず、ありのままに捉えようとする写真のような表現)などの細かいタッチと異なり、荒々しい筆致が多く、絵全体が明るく、色彩に富んでいる表現が特徴です。

1874年の第二回印象派展に出品された時、批評家たちは、「子どもじみた絵」、「壁紙の方がまし」などと酷評しました。当時この絵の表現は斬新であり、衝撃的だったのです。しかし、その革新的な表現はやがて多くの画家たちによって受け入れられ、美術の歴史を大きく塗り替えていく感性を根柢から覆した作品となったそうです。

さて、そんな想いを胸にこめて出陣。会場は当日券を求める人達で長蛇の列でした。私はあらかじめ招待券がありましたのですんなり入場できましたが、そんな人達を横目に事前にチェックをふと思ひ出しました。このモノ展に名古屋の各ホテルがタイアップ企画として色々なサービスがあり、中には入場券を含むランチセットの企画もありました。例えばそのセットを利用した後に観覧すれば、寒中(中)に並ばずに済むのに。時間ももったいない。また、旅行でも、宿泊先の設備や、近くの観光地名産品など事前に調べておけば想像する楽しみも増えると思ひます。仕事でも新規の訪問先では、そのHPを見ておけば、会社概要、沿革、主要商品など知ることができ、ポイントの会話ができますよ。ね。…。(ネットを利用すれば、大半の情報は入手できますからね。)

さて話は、それでしたが実際の名画を目の前にして思わず、お(本)物。正直、単純な油絵に見えましたが、この絵から美術の歴史が変わったのか?と思うと奥深さと感銘を受けることができました。(下調べの甲斐がありました)どこかの消費者金融のCMではありませんが、「事前にチェック」によって価値観が大きく変わる体験を味わうことができましたかと思ひます。

『自動車産業の革新』

成瀬勝英 (配送部)



初めて自分の車を手に入れたのが33年前、その時の喜びは今も忘れられない思い出の一つで有る。今では観る事も珍しい排気量3600ccの軽自動車を購入したのだ。新車価格40万円。それを頭金10万、月払い1万、ボーナス払いを含む2年返済のローンでの購入である。その車に当時施行されて間もない若葉マークを付け、何処へ行くにも走らせた。所有期間が3年程で7万キロ強の走行距離。その間エンジンオーバーホールを2回もしたが(エンジンの回し過ぎ)今では考えられない程、任意の車両保険も安く、自損事故、エンジンの不調なども簡単に適用できて、本当に良い時代だった。乗り心地、エンジン音、使いやすさ、と何一つ今の軽自動車(660cc)に勝る所は無いが、今の車は本当に良くなったと思う。その世界最高の車作りを目指してきた自動車産業が窮地に立っている。リーマンショックや円高による利益損出が原因では有るが国内販売の落ち込みは、何年も前から始まっていた。若者の自動車離れ所得の格差、原因は他にも有るのだろうか、特に若者の車離れの原因は携帯電話に有ると言う。携帯が無くても暮せないが、車は無くても暮らせる。(交通手段の少ないアメリカは別として日本は公共の交通機関も発達している)現在アメリカでは本気で実用電気自動車を研究していると聞く。排気ガス問題や燃料の安定供給、部品点数2/3による生産コストの削減、消費効果。実用化すれば今までの車が瞬時に時代遅れになるという。かつての電話機やフィルムカメラ、ビデオ、テレビのような交代劇が自動車の分野でも無いとは言えない。自動車産業の構造が世界規模で大きく変わる、変革の時代になりつつ有るのかも、此れを好機と捉えればこの不況が、この先の大きな収益を上げる為の試練にも思えて来る。ガンバレ日本車!

『バレンタイン』

西垣浩司 (製造部)



先月、娘が今まで料理をした事がないのに、友達とバレンタインチョコやクッキーを作ると言い出しました。何故、この時期なんだろうと考えたらバレンタインが近づいていたからであった。誰に渡すのにする料理をする事は、いい事だづくづく感じます。家内が「どうせあげるならカードにメッセージを書いたり、色んな物を使ってラッピングをしてから渡すと相手も喜んでもらえるよ」とアドバイスをしている姿を見ると女性だなあと感じます。逆に自分ももらった場合は例え義理でも気持ちが入っていれば、甘いチョコの形が崩れていようが作ってくれた事に感謝していただきます。今から御返し怖いと感じる今日この頃。

